

6月定例議会報告

6月定例議会が6月13日・14日の日程で開催されました。議会では議員5人が一般質問、補正予算、条例改正などが審議されました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに一般質問を行いました。町の答弁、議決内容等をお知らせします。



出浦議員の質問内容

問題多すぎる広域水道の運営

水道が広域化されて一年も経たないうちにいくつもの問題が発生。その一つが広域水道局が各自自治体に求めてきた出資債の繰り出し問題です。どういうことかというところ各自自治体に借金をさせ、その金を広域水道の運営にあてようというのです。

小鹿野町分7240万円の出資債の繰り出し拒否に変わりなし

福島町長は平成29年度分出資債7240万円については繰り出しを拒否していますが、現時点でも繰り出す考えは無いことを明らかにしました。

出資債繰り出しは今後も続く

水道局の出資債繰り出し要求は、平成30年度以降も続きます。大規模工事を行えばそれに見合っただけ繰り出し額は増大することになります。したがって小鹿野町に対してさらに巨額の要求があるものと予想されます。

今後、4年以内に水道料金の統一が行われる予定であり、小鹿野町の負担、町民の負担はさらに増えることになり大きな問題です。

水利権を売るための借金は、小鹿野町が返済

小鹿野浄水場の存続は町民の皆さんの願いですが、広域の計画では9年後までに廃止される予定です。

小鹿野町では小鹿野浄水場の安定水利権を取得してありますが水利権の所属は現在どこにあるか質問しました。答弁によると水利権は、すでに広域水道局に移管されているとのこと。

水利権を得るために町は1億6940万円の起債をして返還を続けています。総合政策課によるとその分の償還残高は、1億4200万円ほどあり、平成46年3月まで償還を続けていくことになるとのこと。

水利権は広域水道局に移管、借金返済は町に押し付ける全くもって変な話です。

計画見直しを

広域水道局は、国庫補助金が予定通りでないという状況に直面しても計画通り工事を進めようとしています。

出浦議員は、「長尾根配水池等の工事を一時ストップし、計画の見直し」を広域理事会、水道局に求めるよう要求。

福島町長は、「補助金、工事の件、(計画)年数、工事方法も今までと違うものも出ているので工事の見

直しも申し添えておきたい」としています。

資金計画が狂っているのに計画通り進めようとする水道局の姿勢は企業としては考えられないことです。

広域水道離脱、小鹿野浄水場の存続を

事の起こりは小鹿野町民の声を無視して広域水道に参加したことが誤り。

地方自治法の規定に基づき広域水道から離脱することは可能です。小鹿野町単独の水道事業に戻すことが町民の利益につながります。



国保広域化、第2回シミュレーション、小鹿野町2倍化の結果

来年度から国保運営が広域化され埼玉県が運営主体となります。県が国保税の市町村別シミュレーションを行いました。小鹿野町は1人当たり65109円から134633円と2倍化する結果となりました。国保税を値上げさせない町の努力が求められます。

おがの民報 No.30

日本共産党小鹿野町委員会

6月定例議会報告

2017年7月2日(日)

電話 79・0036

さらに子育て支援 の充実を

学童保育料、引き下げを

小鹿野町の子育て支援は全国でもトップクラスの水準にあります。さらに充実を求めて質問しました。学童保育の必要性は年々高まっています。保育料引き下げを求める保護者の声があります。

近隣の学童保育料は、皆野町では無料、秩父市では月額4200円ですが、2人目からは無料にしています。

学童保育料引き下げを求めましたが、担当課では近隣の状況を見ながら検討することです。

児童の放課後の安心を確保するために、学童保育料軽減をさらに求めていきます。

就学援助制度のうち、入学準備金の金額改定 7月実施

「要保護者」「準要保護者」の児童生徒に支給される就学援助のうち小学校、中学校の新入学児童生徒学用品費等の入学準備金が約2倍に引き上げられることは前号お知らせしましたが、7月に支給されるということです。

支給時期を前年度に

さらに支給時期を前年度の1、2月頃に前倒しできないか求めました。

担当の学校教育課では、前年度支給ができるよう検討してみるとしています。入学準備には多額の費用が必要ですから支払いをする

ときに保護者の手元に現金があることが大切です。

小中学校

入学者に祝い金支給を

新たな支援策として新入学者に「入学祝い金」が支給できないかもとめました。

学校教育課では、その必要性は認めながらも、教材費補助、給食費無料化に力を注いでいるので今のところ困難としています。

保護者負担の軽減、町が入学を祝う意味でも実現してほしいものです。



道路行政

道路安全対策、県道37号線双神トンネル付近早期改良を

4月22日、浦山地区で落石が原因と考えられる乗用車転落事故が発生しました。

5月12日、出浦議員は、共産党県議団とともに現地調査、町内危険箇所調査を実施、秩父県土整備事務所に要請行動を行いました。

町としての落石危険箇所調査、対策について質問しました。すでに建設課では道路脇の落石防護柵の緊急点検を実施したとのことです。

出浦議員は、特に今までも落石があった小森の両神工業採石場対岸の県道の安全対策を求めました。建設課では調査して県へ要請するとしています。

その後、建設課では現地調査して県に連絡したとのこと。小鹿野町には落石の危険箇所が多数ありいつその安全対策が求められます。

県道37号線の改良についても質しました。特に古池地区の双神トンネル付近の早期改良を県に働きかけるよう求めました。

県では双神トンネル付近を迂回するルートでの計画を進めていますが何年も時間がかかりそうです。町としては、早期完成に向け県関係機関に要望を強めていくとのことです。

文化行政

町収蔵の出土品、民俗資料等の展示、公開を

町に収蔵してある出土品、民俗資料等の展示公開について質しました。当面「郷土玩具コレクション」展示公開を予定しているものの、他の収蔵品についても見学できる機会をつくるということです。県内でも貴重なコレクションなので常時公開できるようにしたいものです。



日本共産党 出浦正夫町議

議会報告・懇談会のお知らせ

日時：7月5日(水)

午後7時～

会場：小鹿野

文化センター 2階

研修室

皆さん、

どうぞご参加ください。